

# 認定NPO法人:年度総会報告「子ども達と共に育ちあう社会/未来づくりへ」

年次総会は5月22日、定款に定める社員=正会員に案内。昨年に続き感染症対策を図るため、「委任状型」での運営となりました。議題は①'20年度事業報告・決算・監査報告、②'21年度事業計画・予算・体制等です。主事業である、月寒スクール/小中学生の多彩な展開、週末型居場所/「寺子屋」・「実家」通年開催、「自由な小学校運動」を推進しました。これらを新年度も継続展開していきます。



(以下報告、決算数値・方針等は確定書類を官庁提出) 写真:スクール種植え→

## 【2020年度の活動：定款に示した活動項目により記載】

- 1) 学習活動への援助：**各スクールの授業・行事の企画提案、運営、参加。
  - ・スタッフ支援；教科担当など約3～5名分をサポート。主に初等部門。他に団体や集会講師対応等
  - ・学生受入れ：釧路教育大実習～例年12月、今回中止(通算102回)、他大学等/北大・文教大・教育大札幌
- 2) 教育推進者支援：**スタッフと役員など支援者・推進者むけ研修。
  - ・役員、スタッフ研修会開催；学期毎、(独自企画、外部企画参加)・理事会併催；新しい小学校運動
  - ・教育研修開催；(教師塾～教育大/年1回)、寺子屋研修会/年1～2回、大学生・若手スタッフ対象
- 3) 教育相談：**月次案内、個別相談受け入れ。専門家連携。
  - ・学期毎の案内、年次説明会開催；2.3月。月次相談会；各2回+体験会、個別；電話等の相談対応。
  - ・案内、受付；月次/ホームページ、チラシ配布、建物掲示板 \*進路指導～高校情報(+見学引率)
- 4) 協同交流活動：**他団体/集会の事務局対応・役員引受(+独自企画)。
  - ・民間教育集会の運営分担・レポート；札幌子育てフェス/実行委員(事務局)、月寒九条の会/きさつぷP/メンバー
  - ・民間組織連携；NPO余市教育福祉村/相談役、道地域自治体問題研究所/理事、共育の森学園/理事、
- 5) 研究・講座等：**(研究所包括テーマ)
  - ・実践記録を紹介；教育大授業レポート、教育エッセイ、発達支援報告、・独自企画：自然エネルギー普及「エコハウス」
  - ・ブックレット：北海道発教育提言 No.1-11+「雪国ECO防災教室」。\*通信「巻頭言等編集＝普及用」検討
- 6) 広報・他：**
  - ・「通信」定期発行：年次9-10回、活動支援グッズ=物販、・HP更新：新スタイル発信/父母協力編集
  - ・独自チラシ、パンフ等：年次作成、エポ配布/地域団体折込、エポチラシ=市民活動センター/常設。\*公的助成/市他

## 【自由が丘月寒スクール：下記は市役所提出資料による】

月	項目、概要	備考	*はNPO活動
20194月	1学期始業、「入学のつどい」	父母会	
5月	アウトドア：公園他、農業実習/余市、野菜栽培/月寒		*NPO法人総会 *文教大実習12名
6月	独自企画/博物館他、進路が「仆」、ゲスト授業/生物、父母会	食育/月次、	
7月	サマーキャンプ、1学期終業	体験会実施	
8月	2学期始業、余市実習、進路が「仆」/個別↓	初等：別メニュー組立て	
9月	独自企画：農業実習収束	中3：高校ガイド、	
10月	修学旅行～企画/道南2泊、実施	父母会	*集会「札幌教育子育てフェス」共同運営
11月			
12月	教育大学生実習*～授業・クリスマス行事・泊り会、2学期終業		*授業検討会、教師塾開催 NPO理事会
20201月	3学期始業、		
2月	冬期スポーツ/サカト/ソシエ、ゲスト授業/生物、つどい準備		*年次説明会①*教育大札幌校実習6名
3月	「卒業修業のつどい」：関係者約50名参加。		* ②～

- 【概括】
- <生徒>
  - ・20数名規模
  - ・初等部増員
  - ・卒業2名
  - <行事>
  - ・月次/学期
  - ・農業実習
  - ・生徒企画
  - <大学生>
  - ・5月交流型
  - ・2月総合型
  - ・院生受入れ
  - <新スタイル>
  - ・衛生管理付加

## 【決算：事業概要】

◎収支構造：収入は昨年比較で会費減少、寄付は増加、助成/札幌市+民間は減額、総額前年比△80万です。(会員は一部退会、スクール入学の親新規。増額寄付/篤志大口2件他)支出は学習支援スタッフ・体験実習・教材等、居場所事業も合算計上。総額前年比△120万/主にコロナ渦での事業規模縮小～会報8回発行/管理費計上[常勤(派遣)や施設維持・機器・税務・車両等]研究所対応/負担。(事務所費12ヶ月分処理)

◎特記：法人は年次過ぎ含め従前通りの支援を頂きました。～(株)和光、(株)秀岳荘、(株)りんゆう観光、(株)知味第一ホテル、(株)岡本建設、(株)村建設、(株)佐々木総業、(株)新倉屋、(下線複数口)～別途、遺言指定・ろうきんの小計65万頂く(→繰越)

◎損益：+69,383、前期繰越294,937を加算し次期繰越。(注：WAM居場所事業は、コロナ渦縮減により7.2万返金へ)

## 【執行体制：役員・スタッフ】(敬称略)

◎昨年継続、本年改選/重任です。宜しくお願いします。

- ・代表理事～吉野正敏/統括、大塚勲/学園長、
  - ・副〃～田中傳右衛門、\*名誉顧問/鈴木秀一
  - ・理事～細田孝也、多田和子、二階堂充、鈴木かおり、太田一徹、以上三役含め8名。
  - ・監事～吉田弘、廿日岩ミサコ、2名。
  - ・社員～上記外8名、各分野活動を担っています。又、居場所事業で大学生・子育て団体等の協力を頂く。
- \*「認定NPO法人」：関係書類は所定報告書・決算以外に約10種作成して札幌市市民法人課に提出。

## 【2021年度方針：従前踏襲】

## 基調《市民立型の“共に育ち合う”学び舎づくり》

情勢：日本社会の格差貧困が連鎖する2極化構造の下、特に貧困・感染症対策の後手状況などを含めた子どもや家庭の生活/経済が困難となっています。学校教育では集権的施策が加重、教師・児童の創造性・自由が抑制される中、全国18万人(道内で前年+千の7.5千)と急増する不登校児童＝一種教育難民への保障は放置が続いています。(教育機会法成立3年後も見直し不明)改めて、学習権を含む憲法的価値/基本的人権は、環境・平和等と共に大人社会が問われる時代です。

方針：当初より掲げる理念<子ども達が主人公＝学び成長する主体>の人間形成的教育・学び舎づくりを父母・市民と共に継続追求します。(子どもの権利条約の具現化)特に義務教育年代への教育は本来「社会公共的事業」であり、関係する教育機関や地域の様々な団体・個人との「協同＝ネットワーク」形成を図りながら創意工夫し取り組んでいきます。同時に、数年来の『自由な小学校』設立運動は通底する事業でもあります。

教育分野における民主的な営みを担っていくために、引き続き皆様の可能なお力添えをお願いします。

## 【2020年度：活動計算書】 2020. 4/1～2021. 3/31

科目	予算	金額	小計	前年
I 経常収益				
1.受取会費	1,345,000			値18-16.56(2020/21/5)
正会員受取会費	545,000	460,000		値193(前184)法6(前8)
賛助会員受取会費	800,000	620,000	1,080,000	値193(前184)法6(前8)
2.受取寄付金				
受取寄付金	500,000	780,000		個人分、共同募金5万他
施設等受入経費			780,000	
3.受取助成金等				
受取助成金	4,250,000	4,193,486	4,193,486	市200万、WAM210万、他
4.事業収益				
各種収益	150,000	147,500	147,500	
5.その他収益				
受取利息		1,462,000	1,462,000	つくま会10万、指定50、ろうきん16万
雑収益				
経常収益 合計	6,245,000	7,662,986	921,000	7,662,986
II 経常費用				
1.事業費	4,650,000			
(1)人件費				
給与手当		780,000		
法定福利		2,355		
雑給与		2,136,900		
人件費計		2,919,255		
(2)その他経費				
体教/農業アクト/学生		462,434		
体教研修/学生実習等		275,864		
賃借料		420,000		
事務用品、印刷、消耗費		106,238		
会議費、支払報酬		296,250		
交通、車両		253,330		
減価償却費		100,000		
保険、備品他		368,164		
図書諸会費雑費		85,682		
その他経費計		2,368,262		
事業費 中計			5,287,517	
2.管理費				
(1)人件費				
給与手当		0		
雑給与		0		
福利厚生		0		
人件費計		0		
(2)その他経費				
通信費		176,913		
賃借料		755,000		
事務用品費		90,165		
図書諸会費		33,652		
支払報酬		420,000		
雑費		25,979		
雑費他		182,200		
その他経費計		1,683,909		
管理費 中計			1,683,909	
経常費用 合計	6,140,000		6,971,426	
当期経常増減額			691,560	
III 経常外収益				
1.経常外収益 計			23	
IV 経常外費用 計			23	
1.経常外費用 計			0	
当期正味財産増減額			691,383	
前期繰越正味財産			294,937	
当期繰越正味財産			986,320	
(前受金)			921,000	

## 【2020年度：貸借対照表】

科目・摘要	決算額	備考
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	156,076	
預金	3,235,897	
流動資産計	3,391,973	北洋銀行2,431,425、労金3,093、郵貯銀行801,379
2 固定資産		
備品等	155,000	テラーパネ
固定資産計	155,000	
資産合計	3,546,973	
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	921,000	
短期借入金	520,000	
出賃借入金	890,000	
預り金	229,653	
流動負債計	2,560,653	
2 固定負債		
固定負債計		
負債合計	2,560,653	
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	294,937	
当期正味財産増加額	691,383	
正味財産合計	986,320	
注：個別勘定(貸借)50万、ろうきん16万あり、ほぼその分が財産増となった。 (事務所代4-3月分支払。昨年度は12-3月分研究所負担) 尚、短期借入は繰越とした。 3.当期収支差額の処分 当期収支差額 986,320円は、次期繰越とする。		

予算等：新年度採択された民間助成がなく(不採択・WAM4年受託で区切り)自前型財源にて執行です。～一部期中案内助成に申請中。又繰越金充当判断